

マラウイ共和国地図・概要



国名	マラウイ共和国 (Republic of Malawi)
面積	118,484平方Km (日本の約1/3)
人口	1756万人, 人口増加率2.9% (2018年: マラウイ国勢調査)
首都	リロングウェ (Lilongwe)
独立	1964年7月6日
言語	英語 (公用語), チェワ語 (国語)
政体	共和制
大統領	ラザルス・チャクウェラ

～ 1800名を超える 半世紀にわたる隊員たちの活動 ～

協力隊マラウイ派遣50周年記念誌

1. ネットからPDFをダウンロードできます。「協力隊マラウイ派遣50周年記念誌」で検索してPDFを取得ください。
2. 当会に残数があります。送料400円を当会事務局 (下記郵便振替口座) にお送りいただけましたら冊子を発送いたします。



祝辞 (マラウイ共和国大統領 ラザルス・チャクウェラ、在マラウイ日本国大使 岩切敏、日本マラウイ協会会長 西岡周一郎) 挨拶 (JICA理事長 北岡伸一)、マラウイ派遣50周年に寄せて (日本マラウイ協会副会長 柳沢香枝、協力隊を育てる会会長 山本保博) 歴代隊員から寄せられた思い出&メッセージ、マラウイ側から寄せられた思い出&メッセージ、座談会 (JICAマラウイ事務所現地職員が語るマラウイ協力隊の軌跡)、特集記事 (有名になった隊員の活動、グループ型派遣ヘルスパースポートの改訂、自治体連携 宮城県、横浜市水道局、隊員機関誌『ZIKOMO』、年表、分野別派遣実績、50周年関連行事、マラウイ隊員の今 隊員配置図、巻末ご挨拶 (JICAマラウイ事務所所長 丹原一広)

訃報 三浦 洋子 氏 (元当会理事) 8月13日死去



日本マラウイ協会

機関紙 (年2回発行)

KWACHA

http://www.japan-malawi.org info@japan-malawi.org

第69号

2023年
9月30日発行

マラウイを語る集い2023 (併催 マラウイ共和国独立59周年祝賀会) を開催しました。

日本マラウイ協会会長 西岡 周一郎



マラウイは今年3月、サイクロン『フレディ』による、歴史的な大災害に見舞われました。温暖化に起因すると思われる異常気象や気候変動は大規模自然災害発生の頻度を高め、災害に強い国作りは、世界共通の課題の一つでもあります。

7月15日に当会主催で、「高まる災害リスクにどう向き合うか」をテーマに、「風をつかまえた少年」の映画上映、パネル討論会、マラウイ独立59周年記念式典と交流懇談会 (シマを食べる会) を4年振りに対面で開催しました。駐日マラウイ大使館に共催頂き、クワチャ大使ご夫妻、大使館員、在日マラウイ人の友人を含む多くが一同に会しての集いは、相互理解、体験の共有、連帯や協調など対面でのコミュニケーションの価値を見直す、有意義な機会となりました。

世界では、紛争、安全保障、経済リスク低減に向けた多様化、食料問題など多くの課題が有り、マラウイを含むアフリカでも大きな影響を受けています。当会は、マラウイへの青年海外協力隊OVが中心となって設立され、現在も活動の中心となっていますが、マラウイを理解する上で大切な資産になるマラウイへの現JICA海外協力隊事業はコロナ禍での一時中断を経て再開され、帰国隊員も再度増えつつあります。また、マラウイに興味を持つ日本の学生諸氏やマラウイからの留学生との交流も相互理解を深める重要な役割を担っています。来年はマラウイ独立60周年。マラウイと日本の持続的な発展と繁栄の為に、共に進んでいけるよう、より多くの方々の参加を得て、今後も草の根ベースで色々な課題に取り組んで参りたいと思います。

THE JAPAN-MALAWI FORUM 2023: CELEBRATIONS OF MALAWI'S 59TH ANNIVERSARY OF INDEPENDENCE IN TOKYO, JAPAN (Embassy of the Republic of Malawi)

Under the country's yearly theme "Celebrating Renewed Unity and Patriotism", the Japan-Malawi Society Forum, in collaboration with the Malawi Embassy in Japan, organized a lively and culturally rich celebration in Tokyo to mark the 59th anniversary of Malawi's independence on July 15, 2023, at the JICA offices. The ceremony not only commemorated Malawi's march to independence but also highlighted the Malawi-Japan relationship and partnership. Japanese Former Ambassadors to Malawi, Malawians living in Japan, Japanese, diplomats and residents from several countries attended.

Malawi's Ambassador to Japan, His Excellency Kwacha Chisiza, delivered a stirring speech emphasizing the shared values of liberty, perseverance, and growth. He commended Japan for its support in various areas of Malawi's development, such as education, healthcare, infrastructure, and disaster

management efforts, which are contributing to achieving Malawi's 2023 Agenda.

The 59th Malawi Independence Celebration in Japan served as a monument to Malawi's accomplishments since independence as well as the collaborative attitude that characterizes its connection with Japan. The ceremony emphasized the importance of cross-cultural relations and diplomatic ties, laying the groundwork for continued cooperation and mutual growth between the two countries.

The conference began with a screening of the film "The Boy Who Harnessed the Wind," followed by a panel discussion about the many ways Malawians are dealing with rising disaster risk. The celebration was capped off with a Nsima Party, where attendees were treated to traditional Malawian cuisine.

日本マラウイ協会 入会ならびに年会費納入のお願い



当会は、両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的として1983年2月26日設立した任意団体です。会員が納入する会費で運営を行っています。ご入会、会費納入をお願いいたします。

Homepage www.japan-malawi.org
Email info@japan-malawi.org
Facebook facebook.com/japan.malawi
Twitter twitter.com/JpMalawi
YouTube Malawi Society of Japan

区分	入会金	年会費	備考
正会員	1,000円	3,000円	
賛助会員	0円	1,000円	郵便物送付無し
団体会員	3,000円	10,000円	公的・非営利団体
法人会員	10,000円	30,000円	協賛企業

支払方法	口座情報等
銀行振込	三菱UFJ銀行 東恵比寿支店(普)0255739 日本マラウイ協会事務局
郵便振替	ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキユウ店) (当)0013125 日本マラウイ協会 ゆうちょ銀行送金: 口座番号00190-7-13125
PayPal	ホムハ°-ジ「募集」ハ°-ジ下部 (Card払可)

※会費適用期間: 4月1日から翌年3月31日まで

風をつかまえた少年



日本マラウイ協会

百名を超える人が 映画上映、パネル討論、祝賀会に参加！

Japan-Malawi Forum 2023

マラウイを語る集い2023

マラウイ共和国独立59周年祝賀会

令和5（2023）年7月15日 JICA地球ひろば



シマを食べる会 4年ぶりの開催

日本マラウイ協会理事 新聞 郁子

パネル討論

「高まる災害リスクにどう向き合うか」

日本マラウイ協会 副会長 柳沢 香枝

第二部のパネル討論は、「高まる災害リスクにどう向き合うか」というテーマで行われ、4人のパネリストが登場しました。現在マラウイに研究員として滞在中の草刈康子さんからは、過去のガーナや現在のケープマクレアでの経験に基づき、人間と自然との共生を実現するために、長期的視野が必要だとの意見が述べられました。国連大学に在学中のフレッド・サトーさんからは、マラウイの貧困や文化が災害に弱い社会をつくっているが、行政への支援や気候変動に強い農業などにより、備えを強化する必要があるとの指摘がありました。筑波大学の学生、水野あかねさんからは、避難所の位置確認やハザードマップの作成など、日本で個人と行政が行っている災害への備えについて紹介されました。在日マラウイ大使館のジョセフ・チクウェンバ次席大使からは、マラウイ政府が災害リスク軽減のためにこれまでに作ってきた多くの政策や計画が紹介されました。その後の質疑応答では、政策があっても実行できない理由などに関して、活発で有意義な議論が行われました。マラウイと日本、ともに自然の脅威により災害の発生が多い国同士、学ぶことが多いと感じたセッションでした。



日本マラウイ協会の年中行事であるシマを食べる会は、コロナ禍での中断を挟み、待ちに待った4年ぶりの開催となりました。当日は、駐日マラウイ大使ご夫妻のご出席を賜わり、日本マラウイ協会の会員を始め、マラウイ協力隊OV、マラウイ大使館員、マラウイ人や近隣のアフリカ諸国からの留学生など、76名の方が参加されました。

開会に際し、西岡会長の挨拶の中で、今年マラウイを襲ったサイクロンで犠牲になられた方々や、マラウイで亡くなられた隊員に対し黙祷を捧げました。その後、参加者全員で、マラウイ警察音楽隊の音源でマラウイ国歌の斉唱を行いました。

クワチャ・チンザ大使のスピーチでは、「長年の日本の協力と友好関係に感謝している。両国の平和と繁栄を願い、今後も一層関係を深めていきたい。来年はマラウイ共和国独立60周年になり、事前に準備をしてシマを食べる会を行いたい」旨、述べられました。

マラウイ初代隊員の貝塚さんによる乾杯のご発声で懇親会に移り、テーブルには、マラウイから一時帰国された草刈さんが運んできたウファ(シマ粉)で山盛りのシマが用意され、マラウイ大使館員手作りのおかずがたくさん並びました。チャンボ(白身魚)、鶏肉、牛肉を使った料理や、豆や青菜などの野菜料理など、お腹いっぱいマラウイの味を堪能することができました。

会場は久しぶりの賑やかさで、笑顔があふれていました。OV同士、懐かしい再会を果たしたり、JICAを定年退職された元職員の方が、出張で訪れたマラウイを懐かしみ当時のマラウイの様子を語ったりする場面もありました。

楽しい時間はあっという前に過ぎ、和やかに盛況のうちに名残惜しくも閉会となり、また来年も楽しみにしていますという声も多く聞かれました。マラウイに縁のある者たちが集い、シマを楽しみながら旧交を温め、新しい出会いがあり、それぞれに思い出に残る一日となったことでしょう。



次回催事（10/21）のお知らせ！

参加無料・事前登録制

日時	2023年10月21日（土）14:00～17:00
場所	会場（JICA地球ひろば）とオンライン
申込	https://mue2023.peatix.com



MALAWI UPDATE & EXCHANGE

マラウイの今とこれからのつながり

10/21 (Sat) JICA地球ひろば (市ヶ谷)

14:00-17:00

参加無料 事前登録制

<https://mue2023.peatix.com>